

講義コード		授業形態	演習	事前登録の有無	なし	担当教員		開講期	
科目名	中国語Ⅱ							通年	
履修前提条件						備考			
授業の目的	中国語Ⅱは初めて中国語を学ぶ人を対象とする入門初級科目であり、中国語を受講する人は一年次にこの中国語Ⅱと中国語Ⅰを両方受講する必要があります。中国語Ⅰは文法的基礎を中心として学ぶ科目であり、中国語Ⅱは日常的な会話表現を中心とする科目です。この中国語Ⅱは中国語の発音の基礎をから、基礎文法を学びますが、主に日常的な会話表現の訓練を中心とする科目であり、中国語Ⅰと併せて中国語初級（中国語検定試験4級レベル）の修得を目的としています。この科目は中国人の教員が担当します。								
到達目標	中国語入門の段階で最も重要な点は、中国語の発音とその表記法（拼音字母＝中国語のローマ字表記法）を習得することです。漢字を知っている日本人は、視覚的な漢字の意義やニュアンスに依存し、表面的な意味を理解して簡単に分かった気持ちになりがちですが、言葉は発音をしっかりと身に付けて初めて、コミュニケーションに役立てることができるのです。中国語の4つのリズム（四声）や日本語にはない発音を、しっかりと体で覚えること、および中国語の基礎的な文法（名詞、形容詞、動詞の各主述文）構造を学び、言葉の語順に習熟することを目標としています。								
授業外学修内容・授業外学修時間数	新しい外国語を学ぶことは、新しい発音法やイントネーション、言葉の語順感覚に習熟する必要があり、それは口と耳を使った肉体的なトレーニングなのです。従って、授業の時だけの練習ではなかなか身につけません。毎週何回かCDを聞いたり、声に出して反復練習したり、学んだことを復習することを心がけましょう。言葉を学ぶ基本はあくまで肉体的なトレーニングと考えて取り組む姿勢が大切です。（授業のほかに30時間を学修にあてること）								
授業計画	<p>前期15回、後期15回の授業を予定しています。授業はテキストに沿って行います。テキストについては最初の授業で指示しますので、その指示に従って準備してください。</p> <p>【第1回】中国語ガイダンス 中国語とはどんな言葉か？テキスト確認 発音1. 単母音、2. 声調、3. 子音 【第2回】発音4. 複母音、5. 鼻母音、6. 声調の変化、7. 儿化音 【第3回】第1課 人称代名詞、動詞「是」、否定「不」、疑問「吗」 【第4回】第1課 トレーニング1、リスニング1 【第5回】第2課 指示代名詞、形容詞述語文、疑問詞「怎么样」、「的」について 【第6回】第2課 トレーニング2、リスニング2 【第7回】第3課 場所代名詞、動詞述語文、疑問詞疑問文、「呢」、時間表現 【第8回】第3課 トレーニング3、リスニング3 【第9回】第4課 助動詞「想」、選択疑問文、副詞「也」、動詞重ね型、語気助詞「吧」 【第10回】第4課 トレーニング4、リスニング4 【第11回】第5課 数詞、量詞の使い方、反復疑問文、人民元の数え方 【第12回】第5課 トレーニング5、リスニング5、第6課 動詞「有」、動詞「在」 【第13回】第6課 前置詞「离」、方位詞、トレーニング6、リスニング6 【第14回】第7課 連動文、「什么」、完了の「了」、疑問詞「怎么」 【第15回】第7課 トレーニング7、リスニング7、試験前のまとめ 【第16回】第8課 語気助詞「了」、動詞「有」、前置詞「在」 【第17回】第8課 トレーニング8、リスニング8 【第18回】第9課 助動詞「可以」、「会」、「能」、動詞「喜欢」、前置詞「给」 【第19回】第9課 トレーニング9、リスニング9 【第20回】第10課 時間表現、経験を表す「过」、動作の回数、方向補語 【第21回】第10課 トレーニング10、リスニング10 【第22回】第11課 主述述語文、「有点儿」、「是～的」、比較表現 【第23回】第11課 トレーニング11、リスニング11 【第24回】第12課 結果補語、「从～到…」、目的語を2つもつ動詞、時間の長さの言い方 【第25回】第12課 トレーニング12、リスニング12 【第26回】第13課 「是」の省略、使役動詞「让」「叫」、番号の言い方、曜日の言い方 【第27回】第13課 トレーニング13、リスニング13、第14課 様態補語 【第28回】第14課 動作の進行を表す表現、トレーニング14、リスニング14 【第29回】第15課 「就要～了」、主述構造の目的語、「的」の用法、前置詞「为」 【第30回】第15課 トレーニング15、リスニング15、試験前のまとめ</p>								
成績評価の方法	成績評価の方法 前期1回、後期1回試験を実施、また随時小テストや、作文の提出を求めます。最終成績は、授業への取り組みや試験、提出物の点数に応じて評価します。授業の進捗や成績評価については、授業の際に担当の先生にご確認ください。								
フィードバックの内容									
教科書	『1冊めの中国語（会話クラス）』劉穎、喜多山幸子、松田かの子（白水社）								
指定図書									
参考書									
教員からのお知らせ	このシラバスは専任の森山秀二が代表して書いています。								
オフィスアワー	本授業に関する質問・相談は、授業終了後、次の授業に支障がない範囲で教室内にて対応します。								
その他									